

犯罪を防ぐ地域の力 自分たちの地域は自分たちで守る

どこで起ころうとも不思議ではない犯罪。犯罪自体をなくすことは難しいかもしれませんが。しかし犯罪は、無差別、無条件に襲ってくる自然災害とは違い、発生させにくい環境をつくりあげることによって防ぐことができます。

犯罪を発生させにくい環境の原動力は人、そして地域です。一人ひとりの防犯意識が高く、地域の連帯感が強い地域では、空き巣などの発生が少なくなっています。

こうしたことから、地域住民の方による防犯活動に全国的に注目が集まるなか、市内でも地域の安全確保のため活動されている団体があります。



桜ヶ丘自警団 団長
ひさの ひろふみ
久野裕文さん

私たちの地域は、住宅が立ち並ぶ地域ですが、周囲を山に囲まれ、幹線道路からも離れているなど、防犯上心配な部分もあります。平成17年から防犯パトロール(青パト)車による巡回を始め、最初は2、3台の青パト車で行っていました。その後、地域内で児童の連れ去り未遂が起き、本格的に防犯活動をしなればという気運が高まり、現在は9台の青パト車で区内や通学路、その周辺をパトロールしています。



▲地域をパトロールする青パト車

んなときは必ずこちらからあいさつをします。犯人は人に見られることをいやがりますので、こうしたことで、犯罪が未然に防げていると思います。警察からも地域周辺の犯罪が減ってきていると聞いています。

また、地域の人に「いつもご苦労さまです。」と声をかけてもらうと、私たちの活動を心強く思ってくれている人がいるのだなど、やりがいも感じています。

地域防犯の基本は、コミュニケーションだと思っています。みんなが顔見知り、あいさつを交わし、いざというとき助け合えることができる地域づくりをすることで、犯人が近寄りにくい環境をつくることができます。

近年、防災に対する取り組みは進んでいます。身近な防犯に対する備えも必要だと思っています。防犯活動は決して難しい事ではありません。子どもも、近所の大人や友達と一緒に拍子木を鳴らし、夜回りをしたあの感覚です。「戸締り用心、火の用心」を思い出して、まずはできることから、近所の人と始めてみるのが大切だと思います。

これからも自分たちにできることを続けながら、地域、行政、警察が一体となって取り組み、地域から、そして市内から犯罪がなくなることを願っています。



▲犯罪抑止キャンペーンに参加する桜ヶ丘自警団の皆さん

**地域のつながりが、
犯罪者を寄せつけないまちに**

悪質、巧妙化する犯罪を防ぐには、地域のつながりや助け合いが大切です。地域の「コミュニティ」が失われつつある今だからこそ、地域全体で地域を守っていく環境が求められます。

地域の誰もが願う犯罪のないまち、それはそこに住む一人ひとりが防犯意識を高め、それが集まり大きな力となることで実現に近づきます。